

かかりつけ医等の普及に関する指定都市市長会要請

1. 現状・課題

団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え、医療機能の分化・連携を推進するとともに、地域において必要な医療・介護・予防・生活支援等が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」を構築していく必要がある。こうした取組のキーパーソンとして、かかりつけ医の役割が改めて重要になるが、かかりつけ医がいる患者は約5割となっている。

医療関係団体が平成25年に「かかりつけ医」の定義・機能を整理するとともに、平成28年4月から「日医かかりつけ医機能研修制度」を開始した。また、国において、平成26、28年度診療報酬改定で、かかりつけ医を評価する新たな点数を設定している。

このような中、自治体としても、地域包括ケアシステムの構築に向けて、かかりつけ医の普及を促進していく必要があるが、患者がかかりつけ医をもっているか把握し、患者にかかりつけ医の受診を促す仕組みがない。

また、高齢者ができる限り地域で暮らしていけるよう、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師・薬局の普及も図る必要がある。

2. 要請事項

指定都市においては、かかりつけ医等の普及について、別紙のような取組を行っている。

かかりつけ医の定義・機能について、医師と患者、医師間などで認識にかい離が生じないように、国全体でその定義・機能を共有した上で、患者等に一層の周知啓発を行うよう求める。

また、地域包括ケアの推進にあわせて、かかりつけ医の普及を図るため、例えば65歳以上の高齢者が予めかかりつけ医を登録でき、かかりつけ医を受診することを促すとともに、かかりつけ医が、副かかりつけ医等のサポートを受けながら、その機能を果たすことを促す制度を創設するよう検討することを求める。

平成28年11月24日

指定都市市長会

指定都市におけるかかりつけ医等の普及に関する取組（例）

◆ 在宅医療・介護連携推進事業（千葉市）

① 訪問診療医師増強研修（平成 27 年度～）

- ・ 市医師会に委託し、訪問診療に興味のある医師を対象に、訪問診療への参入のきっかけを提供する研修を実施。
- ・ 研修では、訪問診療に必要な知識の習得を行うほか、経験が豊富な医師とともに患者宅を訪問する「同行訪問研修」を行っている。

② 在宅医療・介護対応薬剤師認定事業（平成 28 年度～）

- ・ 市薬剤師会との協働により、在宅で療養する市民に対して、自宅等へ出向き、最適かつ安全安心な薬物療法の提供を行うとともに、在宅医療・介護に関わる多職種と十分に連携することができる薬剤師を増やすため、一定の研修を受講した薬剤師を「在宅医療・介護対応薬剤師」として認定している。

◆ 静岡型地域包括ケアシステムの構築（自宅ですっとプロジェクト）（静岡市）

① 小圏域における在宅医療推進モデル事業（平成 28 年度～）

- ・ 小学校区程度のモデル地域を設定し、身近な地域のかかりつけ医、副かかりつけ医などの医療・介護関係者が会し、テーマに基づきミーティングを行い、連携体制と信頼関係を築き、チームで在宅医療・介護を支える体制の構築を推進。
- ・ 地域の方々の協力を得て連携を図るとともに、地域の市民に事業の成果を積極的に発信。

② 医療・介護・福祉スーパーバイザー人材配置事業（平成 28 年度～）

- ・ 高齢者が在宅でも安心して暮らせるよう、病院や地域包括支援センター等に対して、かかりつけ医の紹介や介護サービスの手配等に関する助言や情報提供、関係機関との調整等を行うスーパーバイザーを医師会に委託して配置。

（参考）

■ かかりつけ医の定義（平成 25 年 日本医師会・四病院団体協議会）

- ・ なんでも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要な時には専門医、専門医療機関を紹介でき、身近で頼りになる地域医療、保健、福祉を担う総合的な能力を有する医師

〈かかりつけ医機能〉

- ・ 日常行う診療においては、患者の生活背景を把握し、適切な診療及び保健指導を行い、自己の専門性を超えて診療や指導を行えない場合には、地域の医師、医療機関等と協力して解決策を提供する。
- ・ 自己の診療時間外も患者にとって最善の医療が継続されるよう、地域の医師、医療機関等と必要な情報を共有し、お互いに協力して休日や夜間も患者に対応できる体制を構築する。
- ・ 日常行う診療のほかに、地域住民との信頼関係を構築し、健康相談、健診・がん検診、母子保健、学校保健、産業保健、地域保健等の地域における医療を取り巻く社会的活動、行政活動に積極的に参加するとともに保健・介護・福祉関係者との連携を行う。また、地域の高齢者が少しでも長く地域で生活できるよう在宅医療を推進する。
- ・ 患者や家族に対して、医療に関する適切かつわかりやすい情報の提供を行う。